

普及現地情報

発信年月日：令和元年(2019年)7月18日

所属名：(湖北)農産普及課

番号：G19008

部門分類：110(稲)

発信者名：川村、田中

湖北地域において、ドローンによる水稻のリモートセンシングと その結果を活用した栽培対策会議を開催しました

「気候変動適応技術実践サポート事業」により、7月2日に長浜市びわ地域の生産者3名の水稲ほ場約12haでドローンを用いたリモートセンシングが実施され、生産者を含むJA等関係者計15名が立会しました。また、この結果を受けて、湖北地域栽培対策会議を湖北合同庁舎で開催し、リモートセンシングの活用等について市やJA等関係機関と協議しました。

本県では今年度から、「気候変動適応技術実践サポート事業」により、リモートセンシングを利用した水稻の生育診断と情報発信を行っています。本年度は湖北地域を含む3地域で基肥一発肥料栽培による「コシヒカリ」ほ場のリモートセンシングが実施されました。その結果を検討し共有するため、7月8日には県域推進会議が開催され、リモートセンシングによる本年の飼育状況や今後の気象予測を活用して追肥の必要性和情報提供の要否について検討されました。

7月10日に当課主催で湖北地域栽培対策会議を開催し、県域推進会議の検討結果や関係機関とリモートセンシング結果や水稻生育概況について情報共有を行い、今年度や次年度以降の対応について協議しました。会議では、出席された関係機関の担当者から、リモートセンシングの新たな活用場面の提案や情報発信について意欲的な意見をいただくことができました。

今後も関係機関と連携しながらリモートセンシングなどスマート農業を活用した生産者への支援を行っていきます。



ドローンによるリモートセンシング
(7月2日,長浜市下八木町)



湖北地域栽培対策会議(7月10日)